

旅館 大坂屋

大坂屋は、赤沢宿の宿場町に現存する2つの旅館のうちの1軒（もう1軒は江戸屋）。二階建ての宿で、十九世紀後半から二十世紀初頭にかけて村内で最も人気のあった宿の一つです。

天保時代（1830年～1844年）に建てられたもので、180年以上の歴史があり、これほど古い宿は珍しい。元々は平屋でしたが、1883年（明治16年）頃に改装され、2階を増築しました。最盛期には1階だけで100人もの客が泊まれることもあったという。多くの客が出入りする脱ぎ履きのスペースが必要だったため、玄関には長い土間が設けられています。

宿泊客は電話やホームページで予約することができます。建物は当時のまま保存しているため、部屋は畳と布団を敷いた伝統的な旅館スタイルです。細い引き戸で部屋を仕切っており、鍵はありません。ラウンジ、お風呂、キッチン、トイレは共用で、各部屋にはトイレやお風呂はありません。

大坂屋では、約2世紀前に旅人が巡礼の際に使っていた部屋と同じ部屋で寝ることができます。このように、歴史が生きているのです。